

1. 計画策定の方向性

平成28年度から令和2年度までの前経営計画が最終年度を迎えたことから、引き続き公益事業の振興と市財政へ貢献する使命を達成するために令和3年度から令和7年度までの経営計画を策定します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響など社会経済情勢のさまざまな変化を注視しながら、都市型ボートレース場としての特性を活かした売上の維持・向上を図りつつ、新時代にふさわしい魅力あるボートレース場を目指します。

【ボートレース福岡の将来像（ボートレース福岡 NEXT）】

ボートレースファンに限らず、多様なニーズを持つお客様にご来場いただき、ボートレースに興味を持ってもらい、ボートレースの臨場感を直接体感する場として、

**福岡市民に親しまれ、お客様が安心して遊べる
存在感のあるエンターテインメント施設**

2. 事業計画

ボートレース福岡の将来像の実現に向けて、現状の分析や利用者の意向調査等をもとに、今後強化すべき3つの柱を「販売促進」「イメージアップ」「施設の効率的な運用」として設定し、戦略ごとに計画的に取り組んでいきます。

I. 販売促進

戦略1：広域発売（電話投票+場間場外）を強化し売上の向上を図る

電話投票等の売上向上に向け、他場との売上競合が少なくなる時間帯でのサマータイムレースの開催や、YouTubeやSNS等を活用した情報発信等により、広域発売を強化します。

戦略2：敷地内売上の向上により売上の安定を図る

全国のファンが注目し、売上が期待できるSG等グレードレースの誘致や、新しい生活様式を踏まえた集客イベント等の実施により、敷地内売上の向上を図ります。

また、ギャンブル等依存症への対策を行い、健全な場としての運営を継続していきます。



複数画面で他場のレース情報を観覧するイメージ

II. イメージアップ

戦略3：場内の明るい雰囲気づくりなどによりイメージアップを図る

花や緑による明るく親しみやすい場内の雰囲気づくりや、施設のユニークメニューとしての活用などにより、イメージアップを図ります。

また、一般会計への繰出しを通じた社会インフラの充実により、引き続き都市の成長と生活の質の向上に寄与していきます。

戦略4：施設の有効活用を通して市民の身近な施設とする

非開催日における市民向けの様々なイベントの実施や地域活動等への有効活用を通じて、市民に身近な施設を目指します。



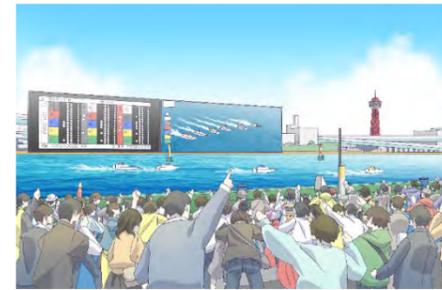
非開催日にイベントで活用するイメージ

III. 施設の効率的な運用

戦略5：長期的な視点に立った施設の改修・見直し計画を立てる

お客様の利便性や満足度向上に向けて、本場と外向発売所との動線確保や、レースの臨場感を高めるためのメディア設備のグレードアップなどを検討します。

また、アセットマネジメント計画の更新など長期的な視点に立った施設の改修・見直し計画の策定を推進します。



大型モニターで迫力あるレースを観戦するイメージ



ラグジュアリーな空間でレースを楽しむイメージ

3. 財政収支計画

お客様の安全性・快適性の向上を図りつつ、効率的な経営に取り組むことで、安定的な本市の一般会計への繰出しを目指します。

本経営計画では、前経営計画の75億円を上回る**135億円(令和3年度～令和7年度)**の繰出しを目標とします。

■収支見込み（令和3年度～令和7年度） ※令和3年度は当初予算額を計上 (税込、単位：百万円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収益的収入	64,238	65,270	62,687	63,452	64,138
収益的支出	61,393	61,843	59,369	60,005	60,599
収支差引	2,845	3,427	3,318	3,447	3,539

(税込、単位：百万円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
資本的収入	0	0	0	0	0
資本的支出	3,696	2,577	3,726	4,440	2,724
収支差引	△3,696	△2,577	△3,726	△4,440	△2,724
補てん財源	3,696	2,577	3,726	4,440	2,724

【参考：前経営計画における繰出しの実績】

(単位：億円)

年度	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	合計
計画	15	15	15	15	15	75
実績	13	17	20	20	20	90